

基本方針：1.みんなが参加したくなり「ひと」と「人」が綱がる新しいまちづくり

課 題

提案・意見

良い点

① 人づくり・地域づくり	② 情報共有	③ 地域資源の活用活性化	④ 参画・改革
<div>区費を集めるのが大変</div> <div>行政区を超えたまちづくり (コミュニティに参加)</div> <div>奨学金制度が弱い</div>	<div>町のイベントに参加していいのかわからない</div> <div>外から来た人は町の情報がわからない</div> <div>自分の区がわからない</div> <div>情報収集力を町民が持つ</div> <div>情報を受け取る力集める力を育てる</div> <div>情報弱者</div> <div>各種サービスメニューの発信</div> <div>超としての魅力を</div>	<div>税収入が少ない</div> <div>商業地がもっていない</div>	<div>女性優先ではない“協働”</div> <div>一緒に働く</div> <div>残業を減らす</div> <div>住民会議に女性が少ない</div>
<div>○好きな区を選んで区費を収める (ふるさと納税のような)</div> <div>○・空き家・空き店舗活用のサポート (補助金や業者の紹介) ○会議に参加したら、Tポイント ○与那原の企業のバックアップ ○区を超えた“青年会” ○住んでいる区に関係なく好きな区に入れる</div>	<div>○役場が中継役に ○相談できるところをわかりやすく ○悩みやトラブルをどこに相談したらよいか紹介してくれる窓口 ○住民票を渡す際に所属している区等情報を受け取れる ○ソーシャルワーカーを地域ごとに総合的に相談できるように</div> <div>○住民票・戸籍・印鑑証明を他市町村役場でも取れたら便利 ○マイナンバーを活用して行政効率をUP ○住民票を変えると銀行の情報などすべての基本情報が変更される ○マイナンバーを使用して、本人が受給できるサービスを調べられるシステム</div> <div>○情報提供を LINE アプリ・FaceBook などの SNS を活用 ○与那原検定</div> <div>OAI</div> <div>○ハザードマップの作成・共有</div> <div>○住民会議などのフィードバック</div> <div>○発言の自由</div>	<div>○通称、愛称を募集(道路、公園等) ○ネーミングライツ(交差点など) ○公用車・公共施設の広告募集 ○クラウドファウンド勉強 ○地域通貨</div> <div>○企業誘致 ○公共資産の活用、処分等 ○Free Wi-Fi ○町にない施設は近隣市町村の施設を活用 ○公共施設の開放・利活用 ○子供たちに市役所を開放 子供の交流の場となる ○学校施設の開放 ・グラウンド ・プール 等 ○公用車のカーシェア</div>	<div>○働き方改革 ○参加しやすい時間の会議(まちづくり) ○託児所の時間を長く ○分煙を進める(路上など)</div> <div>○議会へ女性参加の目標・割合を決める(席や枠は決めない) ○女性が参加する際のバックアップ ○女性が参加しやすい場づくり ○集会中の無料託児所</div> <div>その他</div> <div>○ゴミ分別法などは近隣で統一化してほしい</div>